

## 農産物流通技術研究会 2022 年度総会記念シンポジウム

### みどりの食料システム戦略と有機農業・有機食品

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する新たな政策方針として、2021年5月12日に「みどりの食料システム戦略」が策定された。その中で、先進諸国に比べて大きく後れを取っている有機農業については、2050年までに耕地面積に占める割合を25%、100万haへと大幅に拡大する方針が示された。農産物流通技術研究会では、(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団からの2019年度特定課題研究助成「有機農産物の品質に関する学術論文の網羅的レビュー」により、文献に基づき国内外の有機農業と青果物・ハーブの品質について調査した。本シンポジウムでは、「みどりの食料システム戦略」の概要、有機農業の可能性と課題、その検査認証制度の現状、調査事業から見えた有機農業・有機農産物の課題について講演をいただき、2050年を見すえたわが国における有機農業と有機農産物の生産・流通を考える機会としたい。Zoomによるリアルタイム配信(会員限定)も計画していますので、奮ってご参加下さい。

#### 記

- 日時：2021年12月2日(木) 13:40~16:50
- 会場：科学技術館 第一会議室(東京都千代田区北の丸公園2番1号)
- 演題・講演者
  - みどりの食料システム戦略と有機農業  
農林水産省 農産局 農業環境対策課 課長補佐 嶋田 光雄
  - 21世紀後半を見すえた有機農業の可能性と課題  
あしたを拓く有機農業塾 塾長 涌井 義郎
  - 有機食品の検査認証制度  
(独)農林水産消費安全技術センター 規格検査部 商品調査課 主任調査官 後藤 裕二
  - 有機農業が農産物の品質に及ぼす影響 ~論文サーベイランス~  
千葉大学 大学院園芸学研究科 教授 椎名 武夫
  - 総合討論(司会:会長 長谷川美典)
- 参加費: 会員: 3,000円(資料代)、非会員: 10,000円(参加費+資料代)、学生会員: 1,000円  
協賛学会会員(準会員): 5,000円(参加費+資料代)。  
(注)参加費の支払い方法等については参加申込書でご指定ください。  
追って、事務局より必要書類をお送りします。
- 参加申込: 氏名、所属、住所、FAX、TELをご記入の上、電子メール、ファックス、または郵便で下記へお申し込み下さい。  
追って請求書をお送りしますので、11月29日(月)迄にお振込み下さい。
- 定員: 50名

#### <お問い合わせ先>

農産物流通技術研究会事務局

TEL: 029-838-7191、FAX: 029-838-7996

E-mail: noryu-giken@ml.affrc.go.jp、ホームページ: <https://noryu.academy/>

〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12

農研機構 食品研究部門 食品流通・安全研究領域 流通技術・新用途開発グループ内